

Title	量子力学における測定と観測の理論について(基研モレキ ュール型研究会「進化の力学への場の理論的アプローチ 」報告,研究会報告)
Author(s)	牧, 二郎
Citation	物性研究 (1989), 52(5): 576-576
Issue Date	1989-08-20
URL	http://hdl.handle.net/2433/93665
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

マクロ系の量子力学とその周辺

慶大・理工 福田 礼次郎

talkの内容は下記の論文の要約です。詳細は、そちらを御覧下さい。

マクロ系の量子力学と観測の理論

— 作用汎関数停留の原理 —

素粒子論研究 78 巻 3 号 (1988 年 12 月号) 70 ページ

量子力学における測定と観測の理論について

京大・基研 牧 二郎

talkの内容は下記の論文の要約です。

量子力学における測定と観測の理論

素粒子論研究 78 巻 4 号 (1989 年 1 月号) pp 117 ~ 145.

なお、上記論文にたいする補論：

統計演算子の定義について

素粒子論研究 79 巻 1 号 (1989 年 4 月号) pp 1 ~ 6

も併せて御参照下さい。これらをまとめた論文

“ Probabilistic Interpretation and the Quantum Theory of Measurement II ”

(RIFP-808)

はProg. Theor. Phys. 82 No.4に掲載される予定です。